

木簡研究 第三号

巻頭言——中国簡牘呼称についての提言——

大庭 脩

一九八〇年出土の木簡

概要 平城宮・京跡 平城京左京(外京)五条五坊七坪 藤原宮

跡 稗田遺跡——下ッ道—— 長岡京跡 大蔵司遺跡 西沖遺跡

御殿・二之宮遺跡 野路岡田遺跡 多賀城跡 漆町西遺跡 桜

町遺跡 白山橋遺跡 御館遺跡 御着城跡 鶴・城山遺跡 草戸

千軒町遺跡 野田地区遺跡 観世音寺僧房跡 大宰府学校院跡東

辺部

一九七七年以前出土の木簡 (三)

平城宮跡(第二一次・第二二次北) 薬師寺 下岡田遺跡

中国における簡牘研究の位相

池田 温

庸米付札について

狩野 久

静岡県城山遺跡出土の具注曆木簡について

原 秀三郎

草戸千軒町遺跡出土の木簡——形態を中心に——

志田原重人

彙報

頒価 三五〇〇円 千四〇〇円